

水害について、市町村が出す避難情報と

国や都道府県が出す防災気象情報が**5段階**に整理されました。

これを受けて、大阪市では、今後次のとおり避難情報を発令します。

警戒レベル	避難行動等
警戒レベル 5	<b>緊急安全確保</b> 既に災害が発生している又は、切迫している状況。命の危険があるため、 <b>直ちに身の安全を確保</b> する。
警戒レベル 4	<b>危険な場所から全員避難!!</b> 速やかに避難※する。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 <b>近くの安全な場所</b> や <b>自宅内のより安全な場所</b> に避難する。
警戒レベル 3	<b>危険な場所から高齢者等避難!</b> 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。その他の人も必要に応じ、危険を感じたら自主的に避難する。
警戒レベル 2	<b>避難行動の確認</b> 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。
警戒レベル 1	<b>心構えを高める</b> 災害への心構えを高める。

〈防災気象情報〉  
【警戒レベル相当情報(例)】  
国土交通省、気象庁、都道府県が発表

警戒レベル 5 相当情報  
氾濫発生情報  
大雨特別警報 等

警戒レベル 4 相当情報  
氾濫危険情報 等

警戒レベル 3 相当情報  
氾濫警戒情報  
大雨・洪水警報 等

これらの情報は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。  
※ただし、「警戒レベル相当情報」が発表されたとしても必ずしも同じタイミングで市町村から同じレベルの避難情報が発令されるとは限りません。**避難行動をとる際は、市町村からの避難情報にご注意ください。**

※ 避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの家族や親戚、知人宅への避難についても日頃から相談しておいてください。

／大阪市からは、次のような内容で、避難行動を呼びかけます／

警戒レベル

4

伝達  
文例

- ◆「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難。」×2回
- ◆こちらは大阪市です。
- ◆〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- ◆速やかに全員避難してください。
- ◆指定された避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や、屋内の高いところに避難してください。
- ◆詳しくは、NHKデータ放送やおおさか防災ネットなどをご確認ください。